

第2回 トラック産業の健全化・活性化に向けた有識者懇談会（2014年5月20日）

トラック産業の活性化に向けた事業展開のあり方
業界が直面している諸課題を克服している活力ある事業者の事例

発表者 森田富士夫

はじめに

- ・ 業界が直面している諸課題を克服している事業者の事例から業界の活性化に向けての方向性を探るものである
したがって受動的な面で優れた事例であり、新サービス創造や効率化提案といった能動的な事例ではない

1. サーチャージ問題と燃料コストへの対応（エコドライブ）

①サーチャージ問題

- ・ サーチャージを実現している事業者の事例
- ・ サーチャージを断られても荷主にコスト吸収など自助努力への協力要請をしている事例

②燃料コスト高騰とエコドライブ

- ・ エコドライブで成果をだしている事業者の事例

2. 原価計算と運賃・料金問題

①運賃・料金にも様々な工夫が必要

- ・ 積合せ輸送でも車建て運賃契約にしている事業者の事例

- ・ 製造業の荷主に時間制運賃で成功した事例
- ・ 流通業の荷主に支出項目を費用ではなく原価に替えさせた事例

②運賃・料金で交渉力のある事業者の共通点

- ・ 原価把握は当然の前提だが、原価を上回る運賃・料金收受を実現する工夫・努力をしている
- ・ 経営主体（業種）により経営指標の把握の仕方が違う＝荷主に理解しやすい運賃・料金の提示が必要

3. 拘束時間クリアの問題

①長距離輸送での拘束時間短縮

- ・ 荷主からの大型車（単車）の要請に対しトレーラ化して途中で中継する仕組みを提案した事例
- ・ 納品先でのパレット積み替えを自社施設での積み替えにして拘束時間を削減した事例

②近距離輸送での拘束時間短縮

- ・ コスト・運賃料金・労働時間等を時間単位で管理している事例（燃料コストは走行距離で管理）

4. 労働力不足への対応

- ・ 4トン車（単車）2台を連結化することで幹線輸送を1マン化した事例
- ・ 繁閑の季節波動が逆の事業者同士でドライバーを相互に出向している事例
- ・ 平均1万円のベースアップ（賃上げは平均1万6000円）をし、社員の定着化を図るとともに、キャリアパスなどを示して若いドライバーの獲得を目指す小規模事業者の事例
- ・ 若年層は募集要項だけでなくホームページ（会社側の「履歴書」）もみて自分の履歴書を提出（応募）する

5. 業界活性化の要点